

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 尾張中央農協 農業振興部 営農企画課 青山 勉			【E-mail】 aoyama.tsutomu@ja-owari-chuoh.or.jp							
事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくる		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点
	園児	小中学校生	増進 毎日朝食を食べる人の増加	自分 自分の食生活がよいこと	自分 自分の食生活の正しい増進を知ること	食べる 人の増加、味の増進	食生活 の増進、食生活の増進	食生活 の増進、食生活の増進	食育 の増進、食育の増進	
味岡小学校 バケツ稲作体験 三ツ刈小学校 稲作農業体験 三ツ刈小学校 野菜栽培体験 北里小学校 野菜栽培体験 米野小学校 野菜栽培体験 陶小学校 野菜栽培体験 篠岡小学校 桃収穫体験 陶小学校 桃収穫体験 ひまわり幼稚園 サツマイモ収穫体験 本庄小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験 篠岡小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験 小牧中学校 桃調理実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	お米の大切さ食と農に関する関心を高めること、働く喜びを感じることを目的とし新たに。
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	お米の大切さ食と農に関する関心を高めること、働く喜びを感じることを目的とし、地域の農家の参加もあり今後も継続
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野菜の苗（ナス、とうもろこし、えだまめ、パプリカ）を調運配布し栽培を学ぶ。（先生への農業に関する指導も必要）
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野菜の苗（ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ）を調運配布し栽培を学ぶ。（先生への農業に関する指導も必要）
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野菜の苗（ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ、えだまめ、きゅうり）を調運配布し栽培を学ぶ。（先生への農業に関する指導も必要）
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野菜の苗（ピーマン、ミニトマト、オクラ、ナス、きゅうり）を調運配布し栽培を学ぶ。（先生への農業に関する指導も必要）
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	JA研修果樹園で生産する苦枡を教える。そして収穫する喜びを体験する。
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	農家が桃を育てる苦枡を学び、旬の時期を教える。
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	幼いうちから土に親しみ、作物を収穫する喜びを体験すること
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大豆の栽培とJA女性部との豆腐づくり体験（収穫の喜びと豆腐がでる苦枡を学ぶ）
○	○	○	○	○	○	○	○	○	大豆の栽培とJA女性部との豆腐づくり体験（収穫の喜びと豆腐がでる苦枡を学ぶ）	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	家庭科部の生徒が地元小牧の桃を使って調理実習	
【その他の課題・問題点】 食育体験は、農産物の作付と収穫を体験することが多いが、本来は、栽培管理が大切である。なかなか管理までできないが、農産物の旬や時期を学び、必要な時期の観察記録をすることで作物の生育勉強等になる。また、関連する観察記録やクイズ用紙等を用いて食育推進を深めるとともに、地域の繋がりをもち協力展開を行う。										

【その他の課題・問題点】 食育体験は、農産物の作付と収穫を体験することが多いが、本来は、栽培管理が大切である。なかなか管理までできないが、農産物の旬や時期を学び、必要な時期の観察記録をすることで作物の生育勉強等になる。また、関連する観察記録やクイズ用紙等を用いて食育推進を深めるとともに、地域の繋がりを持ち協力展開を行う。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市食生活改善協議会 河和 佳美

【E-mail】 kowa@mb.ccnw.ne.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	増え加日	母の食生活がよいと	自分通の増え加を知つて	食べ人増え加味わって食	食の増え加と回答す	いちらつたをさす人の増え加あこ	家郷の理年1回の増え加以上	い地元の食の増え加を購入して	か事だの増え加をしな	店目してでい食べる人の増え加を	人々の食の増え加を知っている	増え加の食の増え加をしにいてる人の増え加の動
小学校家庭科調理補助 (大城小学校5年生)		◎	○	○	○	○	◎	○			○	○		調理の楽しさ、基本を学び、成功体験から食に興味をもってもらう。
おやこ食育教室	○	◎	○	○	○	○	◎	○		○	○			社会や生活の多様化により子供の孤食が増加、親子で学び進めてもらう。
ミニ健康展 (味岡地区・市下地区)		◎	○	○	○	○	○	○					○	自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
生涯骨太クッキング		◎	○	○	○	○	○	○		○	○			低栄養・ロコモ・認知症予防に加え食生活改善活動、積極的な乳がん検診を勧める。
糖ビカビックへの参加	○	○	○	○	○	◎	○				○		○	自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
いきいき小牧 (農業祭) への参加	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○	自分が食べた野菜の量と必要な野菜量を実際に手に取り知ってもらう。
ヘルスサポーター21 (北里・市南中学)		◎	○	○	○	◎	○	○		○	○		○	自分の為、家族の為に食べ物を進め調理できる力をつける。
世代別スキルアップ事業 (介護食)		◎	○	○	○	○	○	○		○			○	簡単に家庭で作れる介護食を学び高齢者の日々の食事にも応用
みそ汁塩分調査 (家庭訪問)	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	塩分濃度、野菜摂取の簡易調査、若者世代の脂質摂取が少い
ババママ教室にて塩分測定年6回		◎	○	○	○	○	○	○			○		○	子育て世代に塩分に対して意識を持ってもらう。簡易調査
広報こまき「生き生きしシビ」掲載 (年6回)		○	○	○	○	○	○				○		○	一般家庭にある調味料、食料品の減塩レシピ
ふれあいサロン・いきいきサロン・味岡児童館事業参加	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	サロン会食しシビ提供、調理補助、味岡児童館伝承料理教室など

【その他の課題・問題点】

会員数減少と会員の高齢化、岐阜市の市町村でも全戸配布されて養成講座の参加者が急増したという話を聞いた。春日井市のように養成講座に参加者全員に最低1年は食改活動をするように募集時に明記してほしい。

★調査方法★

【E-mail】

[illegible]

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市私立幼稚園連合協議会 山口 美穂

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通して健康な身体をつくらう	基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう	基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう	基本目標4 食育を広めよう	今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思える人の増加 自分の正しい食生活を知っている人の増加	毎朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思える人の増加 自分の正しい食生活を知っている人の増加	毎朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思える人の増加 自分の正しい食生活を知っている人の増加	毎朝食を食べる人の増加 自分の食生活がよいと思える人の増加 自分の正しい食生活を知っている人の増加	
たまねぎ堀り (5月初旬)	◎							
じゃがいも堀り (6月初旬)	◎							
さつまいもの苗植え (6月中旬)	◎							
さつまいも堀り (10月)	◎							
だいこんの種植え (9月)	◎							
にんじんの種植え (9月)	◎							
だいこん堀り (12月)	◎							
にんじん堀り (12月)	◎							
たまねぎの苗植え (11月)	◎							
じゃがいもの種植え (H31.3月)	◎							
桃の収穫 6月	◎							

【その他の課題・問題点】

昨年までは、園でとりだての夏野菜、すいか、とうもろこしなども食べていたが、衛生面からできなくなった。すべて家に持ち帰り、調理してもらうことになった。

★調査方法★

【E-mail】

[illegible]

【その他の課題・問題点】

★調査方法★

【E-mail】

【その他の課題・問題点】

★調査方法

【E-mail】

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 こども未来部保育課 小牧市立本庄保育園 近藤江里子

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健康やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	増進 毎日 食育 食育 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	自分 の食 育 増進 食育	
食育指導（食べる量が増えるように、よく噛んで味わって食べることを知らせる。）	◎			◎									◎		毎日の食事が楽しい時間になり、食べる量が増え、お腹が満たされた満足感が感じられるようになっていく。また、食事のマナーが身につくようにする。
野菜作り・収穫体験	◎												◎		グリーンピースの収穫体験など、野菜の成長をみるなどの体験を通して、子どもたちが食育に関心を持ち、食育の楽しさを伝える。
調理員が園児に伝える	◎												◎		調理員と交流することで、作る人への関心が高まり、感謝の気持ちを持てるようになる。
給食展示	◎												◎		保護者が毎日、給食に関心を持ち、何を食べているのかを気にしている。食べることをとおして何を食べているのか、食べる量がわかるようになることを伝える。家庭においても食育を促すきっかけになるようにする。
給食試食会	◎												◎		少しでも給食に関心を持ち、家庭の食事へとつなげていけたらと思う。「家でも作ってみようかな」と思えるような食育を考えていく。
クッキング	◎												◎		自分で作ることで、食育の楽しさや、作る喜びや、食べる楽しさや、食べる量や、食べるスピードや、食べる順番など、食育の楽しさを伝える。

【その他の課題・問題点】
・レトルト食品などが増え、便利で豊かな生活になり、子どもたちの食の環境も大きく変化している。地域の方の力を借り、家庭と協力し、子どもたちの食への関心を高めていく。

★調査方法★

【E-mail】 hokensen@city.komaki.lg.jp

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市環境対策課 山中 満里子

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくる			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学校生	一般市民	増進 毎日 朝食 を 食 べ る 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	自分 の 食 育 に 関 心 を も つ 人 の 数	
小牧小、小牧中、光ヶ丘小の3小学校にて地球温暖化対策地域協議会事業として月1回実施	○	○	○											
菜の花プロジェクト・・・ 菜の花フェスティバルの開催(4/14)。種まきから育てた菜の花を使った料理を提供。	○	○	○											
小牧小、光ヶ丘小のこどもたちが菜の花を種まきから育て、菜の花から取れる油を使ってドーナツ作りを体験。光ヶ丘小の6年生が修学旅行の帰りに...	○	○	○											
環境フェア(11/17、18)・・・ 菜の花から取れる油しほりを実施。その油を使った料理も提供。	○	○	○											
「環境にやさしい料理」講座の実施・・・ 市民環境講座(6月～9月まで全4回講座)の第3回(8月実施)にて「思いやりクッキング」を実施			○											
環境映画鑑賞会												○		

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 学校教育課 野田幹広

【E-mail】 mikihito-noda@komaki-aic.ed.jp

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	国	小中学校生	一般市民	増進 毎日朝食を食べる人の割合を増やす	自分 自分の食生活がよいと認識している人の割合を増やす	よく 人の健康増進に役立っている人の割合を増やす	食 人の食生活が楽しいと回答する割合を増やす	い 地域の食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	食 食生活の向上に役立っている人の割合を増やす	
学校教育における健康教育		○		○		○	○			○		○	○		
学校における農業体験の推進		○					○		○	○		○	○	実施できる学校に限られている	
給食を通じたコミュニケーションの促進		○					◎			○		○	○		
学校給食を通じた食育活動の啓発		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	校内放送を有効に使い、啓発に努めたい	
PTA・他機関との連携		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

★調査方法

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】愛知県食品衛生協会小牧支部 高橋 美喜雄

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健康な身体をつくる			基本目標2 食を通じて豊かな心を育む		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎日の食生活が健康増進に	自分の食生活が健康増進に	自分の食生活が健康増進に	食事が楽しい	食事が楽しい	食事が楽しい	食事が楽しい	食事が楽しい	食事が楽しい	
食品営業者の自主管理体制づくりのための再講習会											◎	○	
食品取扱施設に対し、県の認定によるリスク管理優秀店の育成											◎	○	
食中毒防止の広報、量販店店頭での啓発活動			○								◎	○	
食育推進協力店の推進講習会の開催・パンフレット配布			○	○							◎	○	食育推進協力店の登録件数の増加
食品営業関係従事者の検便・食品の細菌検査			○								◎	○	情報提供ができるようにする
食品営業許可所得への養成講習会			○	○							◎	○	
行政・指導員の食品営業施設への定期巡回指導											◎	○	
食品衛生指導員の大手工場見学											◎	○	
食品衛生指導員への行政の専門講師による勉強会開催											◎	○	
【その他の課題・問題点】													

★調査方法★

【E-mail】 sgakusyu@city.komaki.lg.jp

[illegible]

【その他の課題・問題点】

★調査方法★

【E-mail】 peare@ea.mbn.or.jp

【その他の課題・問題点】
基本目標1：高齢者の欠損歯数が多い（80歳で平均14本）ことによる咀嚼機能の低下で、カロリーオーバーの栄養不足となる。また、認知症も増加する。
社会的性/心のフレイル期→オーロフレイル期（栄養面）のフレイル期→重度フレイル期となり要介護へ（要介護となる最も多いウェーズ）
防止するには成人期（20代～50代）の虫歯・歯周病の予防対策が必要で、高齢者の欠損歯数を減少させる必要がある。健康寿命の延伸につながる。（定期歯科健診着数の増加）
※フレイルとは、『虚弱』の意味で、健康と要介護の間で可逆型である。

基本目標1：高齢者の欠損歯数が多い（80歳で平均14本）ことによる咀嚼機能の低下で、カロリーオーバーの栄養不足となる。また、認知症も増加する。
フレイル期→オーラルフレイル（栄養面のフレイル期）→身体面のフレイル期→重度フレイル期となり要介護へ（要介護となる最も多いケース）
防止するには成人期（20代～50代）の虫歯・歯周病の予防対策が必要で、高齢者の欠損歯数を減少させる必要がある。健康寿命の延伸につながる。（定期歯科健診者数の増加）
※フレイルとは、『虚弱』の意味で、健康と要介護の間で可逆型である。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小中学校校長会 伊藤 純子

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学校生	一般市民	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	
学校教育における健康教育・食育指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	担当者はもちろんのこと、各担任が、年間計画に従い確実に指導をこなしていくことが大切である。
学校における農業体験の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実施できる学校が限られている。
学校給食を通じたコミュニケーションの促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	限られた時間の中では十分なコミュニケーションがとれないこともある。
学校給食を通じた食育活動の普及啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	給食献立表を利用した校内放送を通じての普及啓発になりやすい。
P T A ・他機関との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	食に関わるP T A行事やヘルスメイトによる授業支援などを積極的に計画したり、P T A試食会の持ち方を工夫したりするとよい。

【その他の課題・問題点】

- ・給食委員会がある学校では、集会などで食育に関する発表に取り組みことも多い。それを日々の継続的な食育指導につなげていきたい。
- ・小牧市家庭教育研究会では、今年度も「学びを生かし、より豊かな食生活を創ろうとする子の育成」というテーマのもと、栄養教諭や栄養職員とともに食育分野の授業研究等に取り組んでいる。研究部員のいない学校にも情報を提供し、食育への関心を高め、実践を広げていけるとよい。
- ・栄養教諭や栄養職員はそれぞれが4～5校を担当し、各校からの希望により食育指導に当たっている。専門的な見地からの指導は大変ありがたい。ただ、所属校とそれ以外の学校では指導回数等の差が出やすい。

★調査方法 (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 學校給食課 愛野 恭彦・小牧市栄養教諭・学校栄養職員研究会 佐野 祥子

[illegible]

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市地域活性化営業部 農政課 川副 佐和

【E-mail】 nousei@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康や心身をつくるよう			基本目標2 食を通じて豊かな暮らしを築くよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活しよう			基本目標4 食育を促すよう		今後の課題・問題点
	国	小中学校生	一般市民	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	増加倍数	
第3次小牧市食育推進計画PR版を配布			◎									◎	◎	
市民菜園事業（藤島・池之内）			◎									◎	◎	
地元野菜の販売（蔬菜研究会）	○	○	◎									◎	◎	
食育の日店内職員用PCに掲載			◎									◎	◎	
食育ホームページ活用			◎									◎	◎	
小牧市生活改善実行グループとの連携（料理教室）			◎									◎	◎	
いきいきまきでの他団体との連携（農業祭外）	○	○	◎						○			◎	◎	
協働診断に係るモニター業務(1)食品ロス削減ネットワークの構築			◎							○		◎	◎	
協働診断に係るモニター業務(2)食物アレルギーに関する講座の開催	○	○	◎									◎	◎	

【その他の課題・問題点】ホームページやイベント・会議等での呼びかけが主であるが、食育をより広く啓発するための手法として、高齢者の方々への啓発方法を考慮する必要がある。